

女性リーダー研修 ダイジェスト

～講師 服部道江 語録～

老人施設部会では、福祉介護人材対策プロジェクトによる研修企画の一端として、令和4年度は「建設業」の分野で長年活躍されてこられた方々を講師にお招きし、今、現場で頑張っている女性リーダーへ熱いメッセージを送っていただきました。ジェンダーフリーの時代において、役職を担う女性達の悩みと葛藤を同じ立場で共有する「究極の女子会」を開催しました。

【講師プロフィール】

服部 道江 氏

1981年 明治大学工学部(現理工学部)卒業。株式会社大林組に入社後、本社工事事務所にて生産設計業務を担当。1990年社内制度改変に伴い大林組初の女性総合職となる。2008年には新タワー建設工事事務所 副所長に就任し、東京スカイツリーの施工に携わる。2012年ウーマン・オブ・ザ・イヤー受賞。2018年に大林組を定年退職し、現在は働き方・自己実現・女性活躍などを主題とする講演やキャリア相談などの講師活動を行っている。

【保有資格】

一級建築士、一級施工管理技士、コンクリート主任技師、社会福祉士、FP2級技能士、産業カウンセラー(民間資格)



研修会当日の講演とグループワークの様子

女性の活躍を阻むもの

時代や経済、政治的な社会背景が女性の活躍には影響している。法律は変わっても、人間の頭の中身はなかなかシフトチェンジしていない。かつては家事や育児・介護というものは家族(嫁)の仕事、という認識。

(男性が)無償で手に入れてきたもの(家事や育児・介護)の**価値**を理解してほしい。

偉くなってください

若い方にはどんどんステップアップしてほしい。偉くなると**権限**が与えられる。自分のやりたいことが**実現**しやすくなる。偉くなることは決して卑しいことではない。自分が「これをやりたい」ということを訴え続けていくことで、結果的には評価(役職)がついてくる。

男女平等ということについて

「**選択権**」は女性だけにあるものではない。男性にも働き方を選ぶ権利はある。男女問わず働きやすい職場を実現していかないと、本当の意味での女性活躍はなしえない。

先駆者たる者、頭を使え

男性社会において女性の活躍の価値を認めてもらうよりも、女性が多い職場で、エモーショナルな貢献を含め**無償が当たり前というパラダイム**が残っている中でその活躍の価値を理解し、認めてもらうことはずっと大変。自分たちがしてきた苦労は後の世代にさせないという**改革**をすること、先駆者にならなきゃいけない。これからは**頭**を使って考えること、仕事することが何よりも必要。

本研修会では、日本建築仕上学会 女性ネットワークの会にご協力いただきました。建築・建設の分野においても、人材不足や定着・育成の支援などは重要なテーマとして取り組まれており、同団体では、特に女性の就労支援や学生たちへのPR活動などを積極的に展開されています。福祉・介護業界においても、参考となる取り組みがたくさんあります。令和5年度には、女性ネットワークの会が創設10周年記念イベントとして「**みらいを創る建物**」アイデアコンペを企画されており、老人施設部会も協賛予定です。イベントの詳細は追って会員施設の皆様にもお知らせいたします。



研修講師 服部 道江氏(左)と
女性ネットワークの会 主査 熊野 康子氏(右)

～参加者アンケートより～

- ・気兼ねなく想いを話せたり、共感できる話を聴かせていただいたり、有意義な時間となりました。(40代・管理職)
- ・女性の仕事に対する価値を認めてもらうことの難しさが良くわかった。女性ならではの目線も大切にもらいたい。(50代・リーダー候補者)
- ・今後、自分がどう動くべきか、足りない部分が見えた研修会だった。(30代・主任)
- ・介護の価値を認めてもらわないといけないという言葉が響きました。(40代・リーダー)

【開催概要】

- 日時： 令和5年(2023年)3月16日(木) 13:30～17:00 □会場： パークスタワー7階 A会議室
- 定員： 20名(満員御礼!) □対象： 女性リーダーまたは次期リーダー候補者の女性職員 □内容： 講演、グループワーク